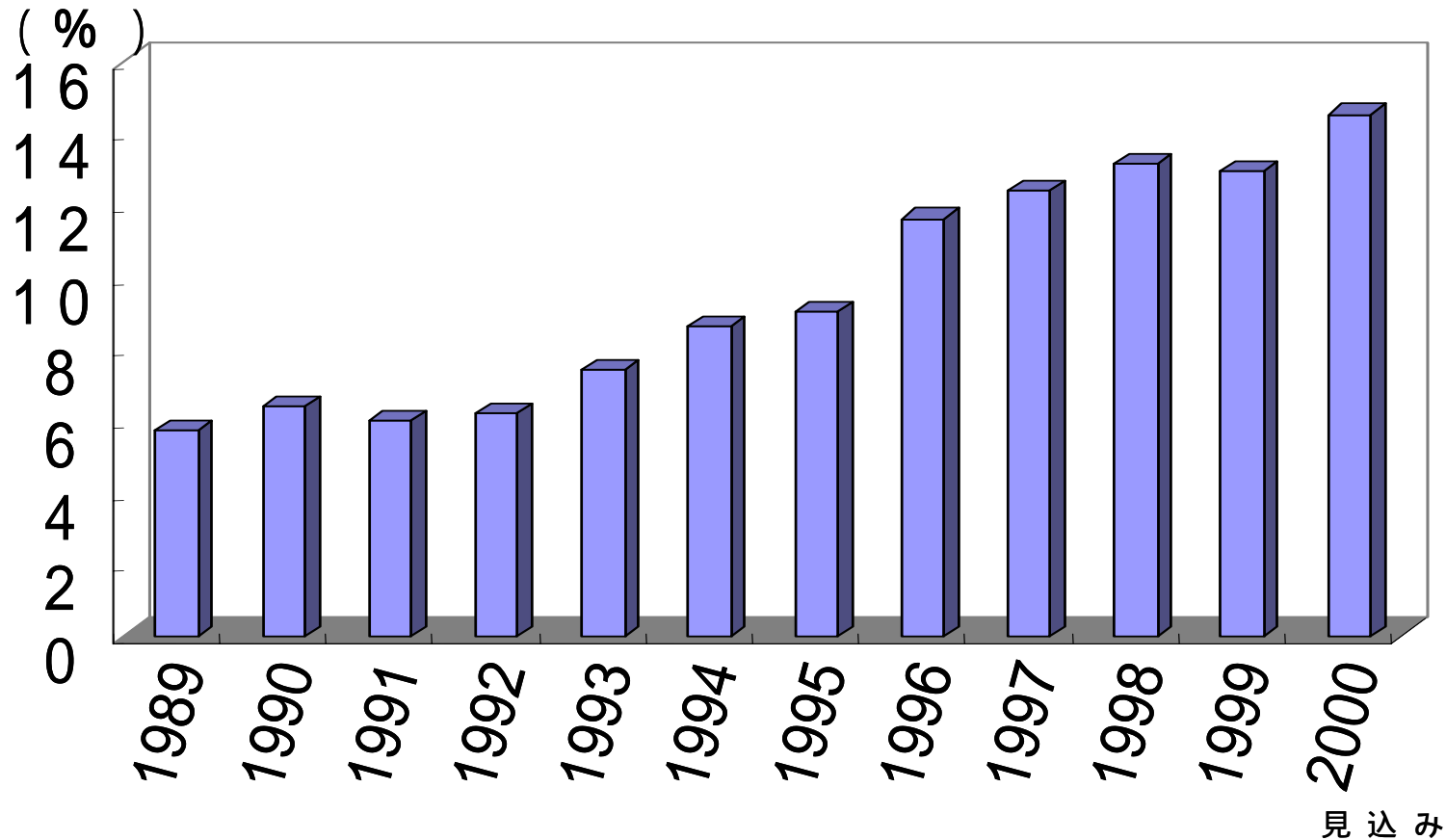


# 我が国経済の空洞化の進展

図1-1 海外生産比率の推移（製造業）

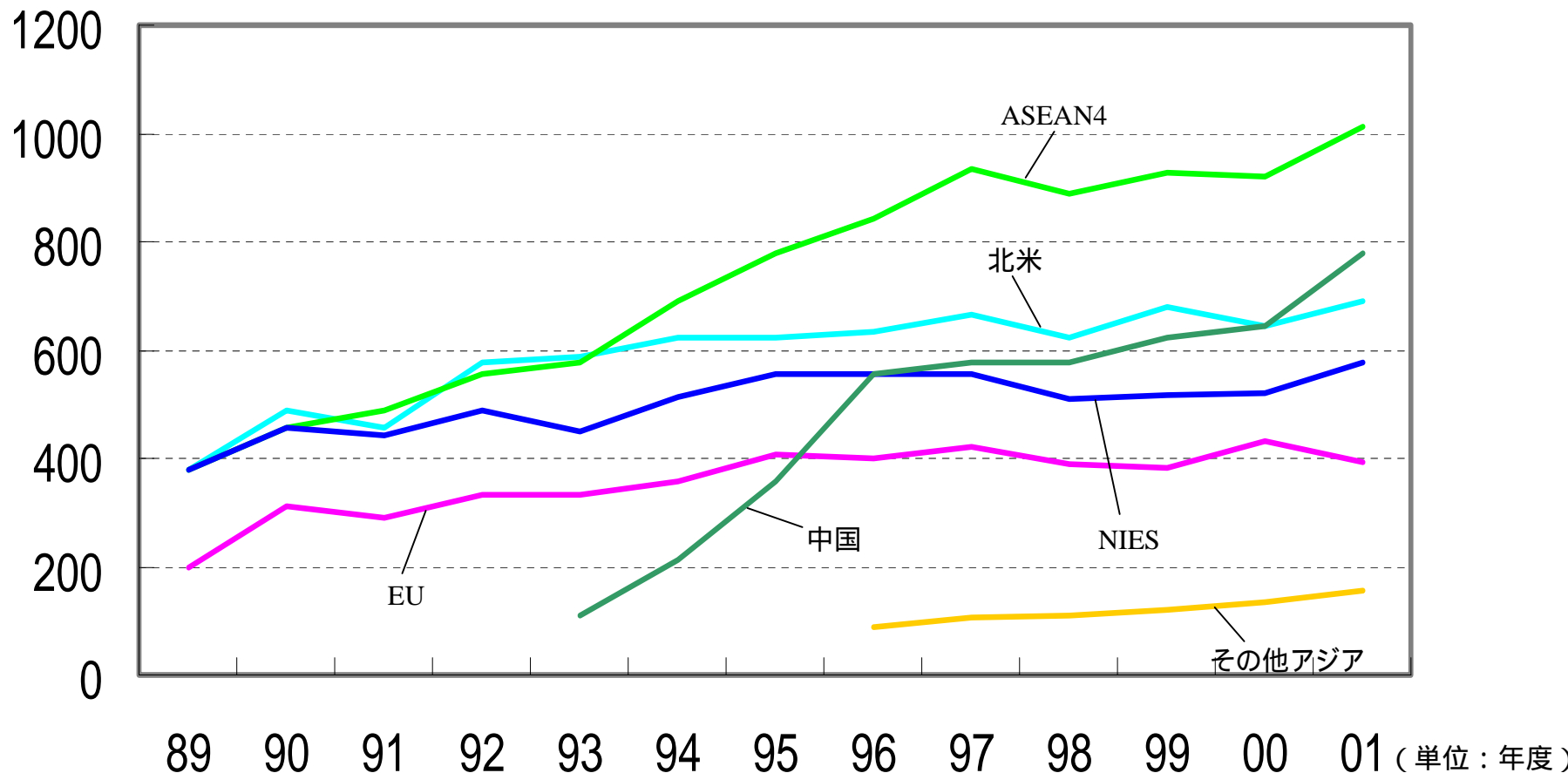


出典：2000年海外事業活動基本調査概要（経済産業省）

注：海外生産比率 = 現地法人（製造業）売上高 / 国内法人（製造業）売上高 \* 100

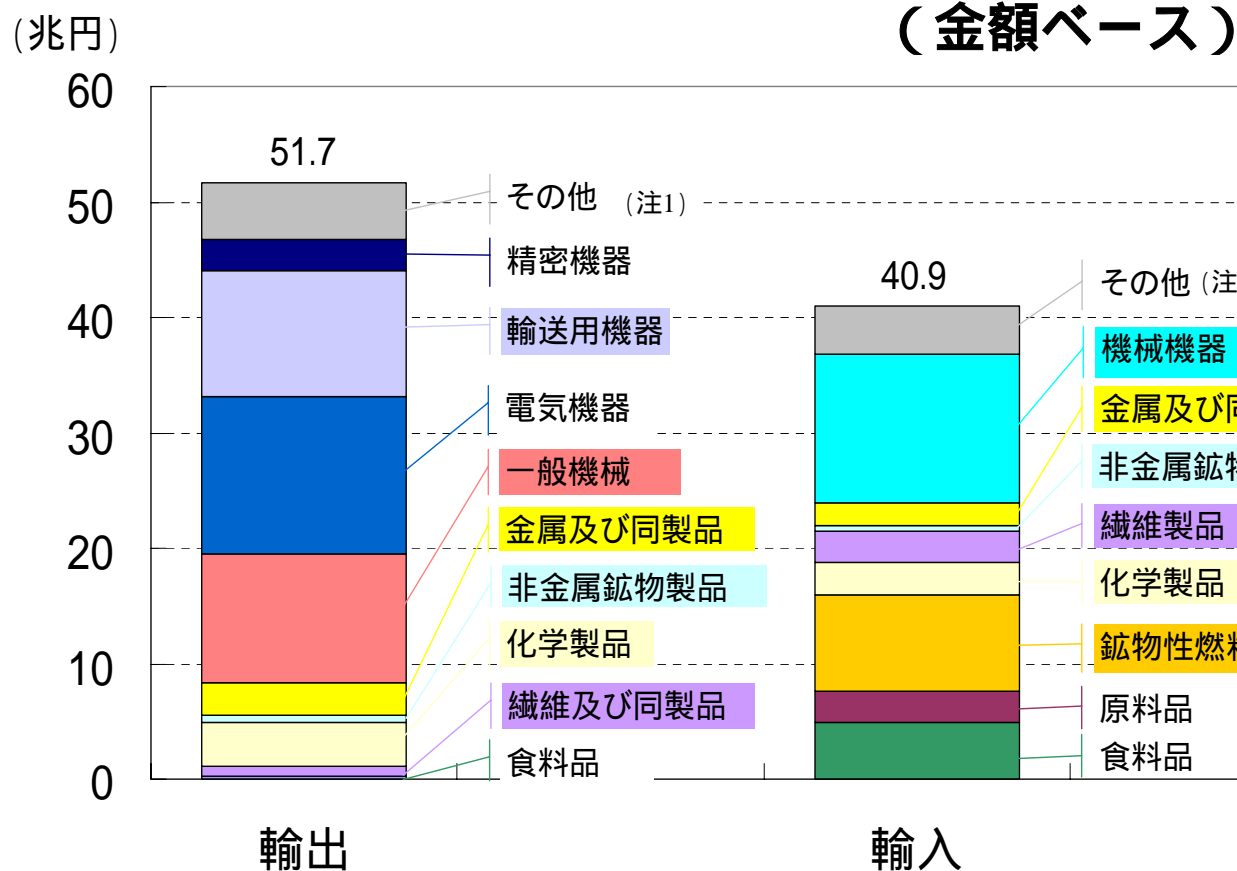
# 中国における日本企業海外生産の急激な増加

(単位：社)



# 我が国の貿易を支える製造業

## 主要商品別輸出入割合（2000年）



注1)その他(輸出)とは、紙類・紙製品、ゴムタイヤ・チューブ、写真用・映画用材料、レコード・テープ類。

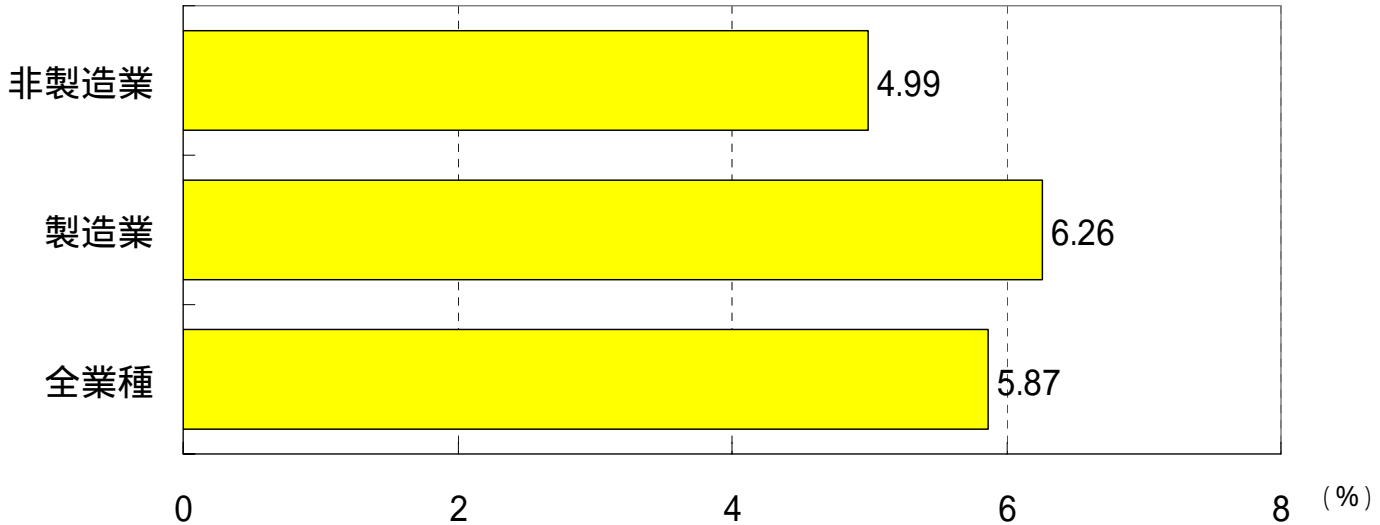
注2)その他(輸入)とは、木製品、家具、旅行用具・ハンドバッグ等、金

出典：「外国貿易概況 2000.12」(日本関税協会)

# 競争力確保のためには、売上高の6%を占める輸送費（物流コスト）の低減が重要

## 【売上高に占める物流コストの比率】

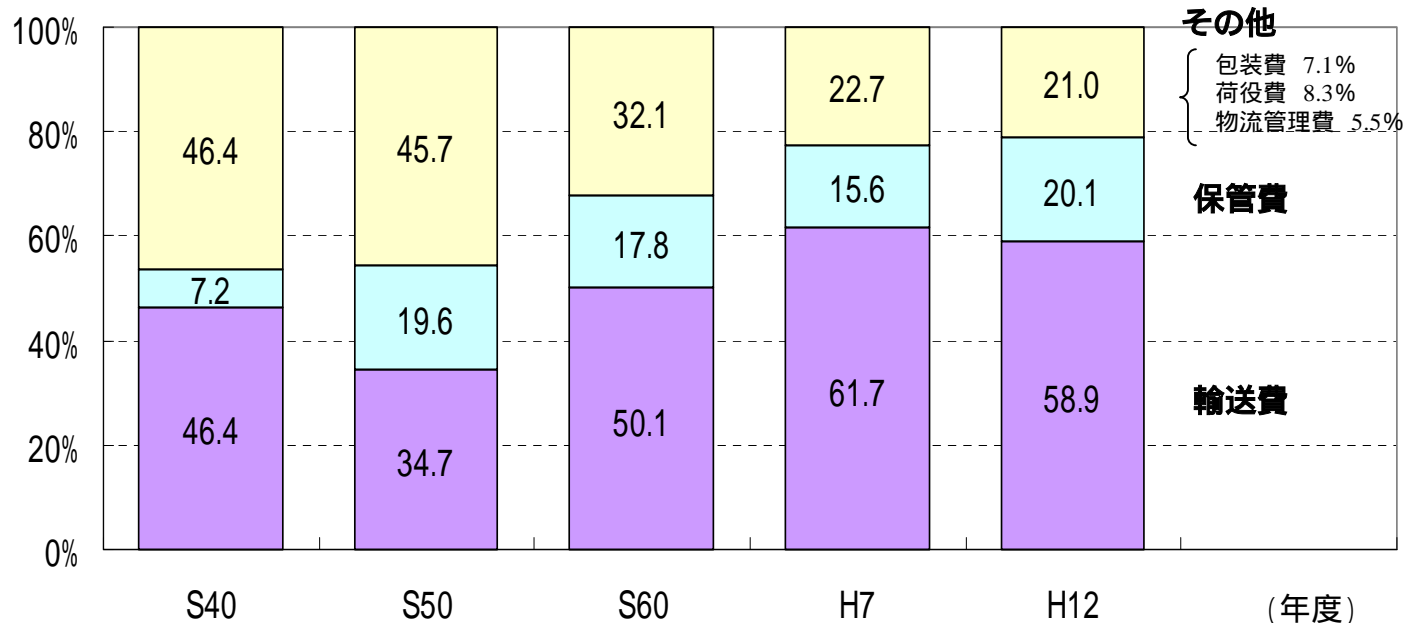
製造業の売上高に占める物流コストの比率は約6%を占める



出典：「2000年度 業種別物流コスト実態調査」（社団法人日本ロジスティクスシステム協会）

## 【物流機能別構成比率（主要製造業）】

物流コストにおける輸送費の比率は約6割を占める

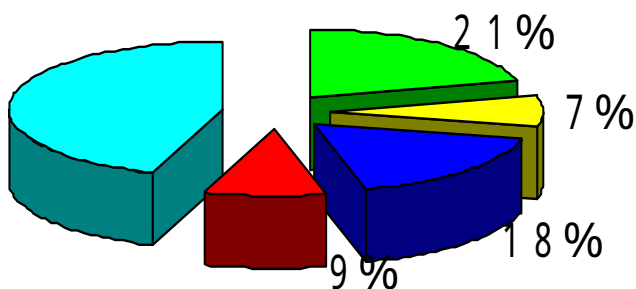


出典：「2000年度 業種別物流コスト実態調査」（社団法人日本ロジスティクスシステム協会）

# 臨海部低未利用地の現状

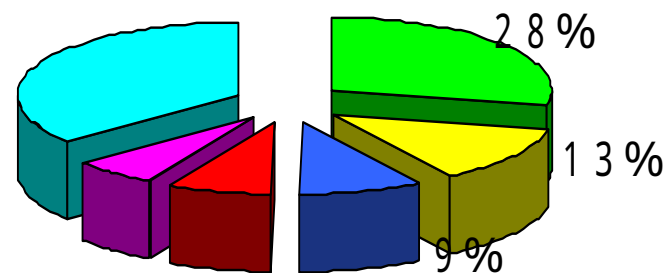
民間所有約5,000ha (国土交通省港湾局調べ)

三大湾 + 北部九州  
で半数



■ 東京湾 ■ 伊勢湾 ■ 大阪湾 ■ 北部九州 ■ その他

3業種 (鉄鋼、石油製  
品、電気・ガス) で半数



■ 鉄鋼業 ■ 石油製品 ■ 電気・ガス ■ 化学 ■ 物流 ■ その他

# 釜山港・光陽港関税自由地域について

2002年1月1日

## 関税自由地域の運営を開始

釜山港127.7ha

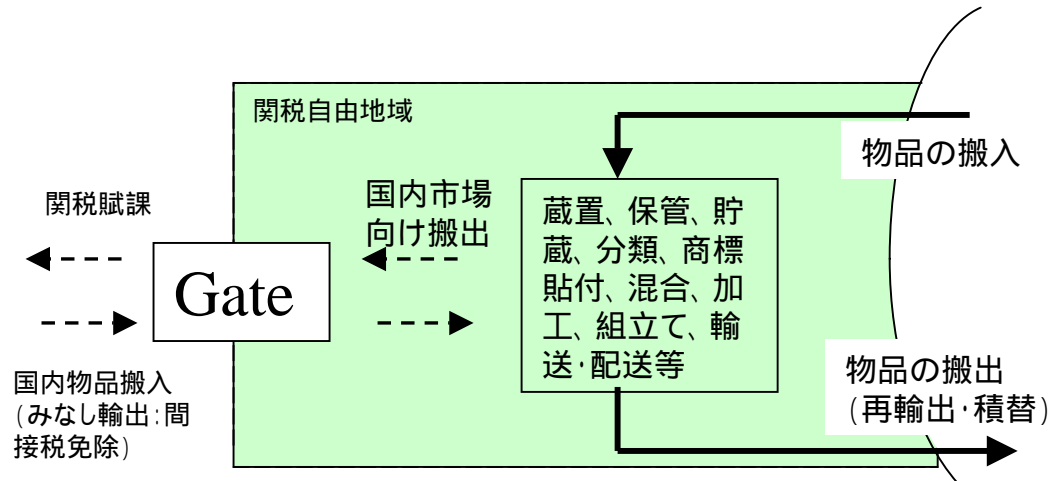
(更に予定地域89.1ha)  
予定地の内、27haを2005年中に  
後背物流団地として関税自由地域  
に指定予定。

光陽港138ha

## 効果

搬入される貨物は関税が免除

物流センターを建設する外国企業には土地  
賃貸料の減免、法人税、所得税、総合土地税  
制減免



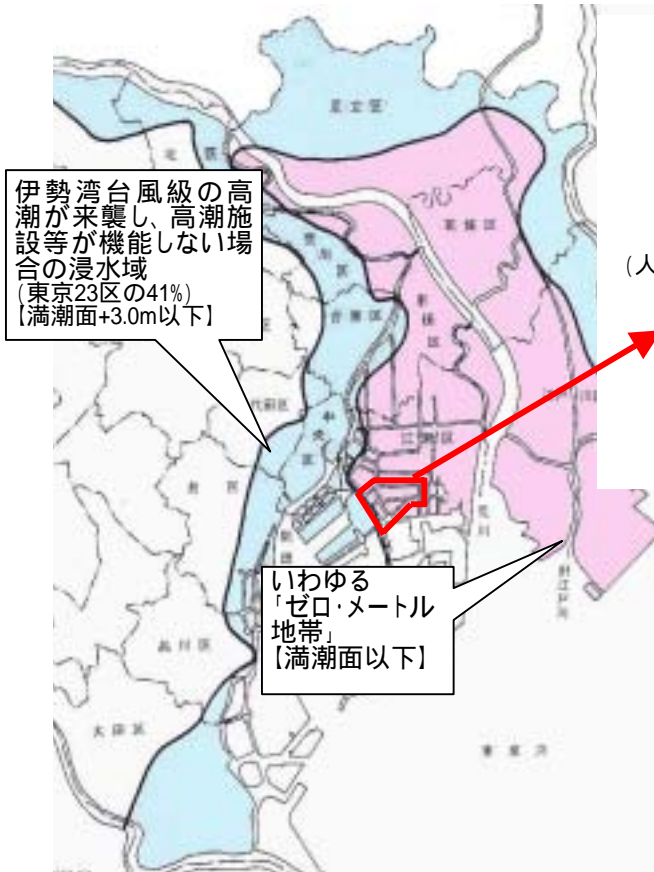
総付加価値創出額5兆5000億ウォン(約5600億円)及び雇用創出3万1千名(専門機関予想)

釜山港のコンテナ取扱量10%増加(韓国政府見込み)

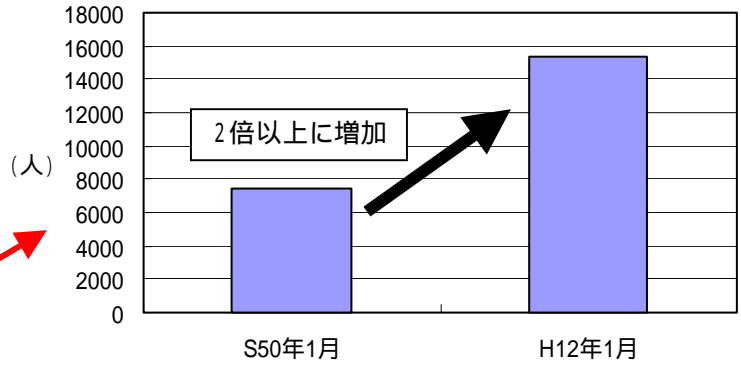
# 都市部の海岸の緊急防災について

人口や財産が集積するゼロ・メートル地帯(20世紀の負の遺産)等を守る都市部の海岸

海に面する都市部の低地



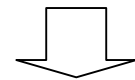
居住人口が大幅に増加した都市臨海部の例  
[東京都江東区臨海部 (左図参照)]



倉庫群がマンションに



平成4年頃



平成13年



	東京湾	大阪湾	伊勢湾
ゼロ・メートル地帯面積	124 km <sup>2</sup>	71 km <sup>2</sup>	402 km <sup>2</sup>



# 臨海部における広域防災拠点の整備

～ 大規模地震災害から国民の安全を守る ～

## 具体的施策

都市の臨海部において、大規模地震災害における広域的な避難救援活動の拠点を整備。

陸上の交通が寸断されても耐震強化岸壁の整備により、海からの食料、医療品等の緊急物資の輸送を確保。

【臨海部広域防災拠点のイメージ】



大規模地震により  
陸上交通が寸断



阪神大震災での神戸港における緊急物資の輸送の様相



# プレジャーボート等の放置艇対策の推進

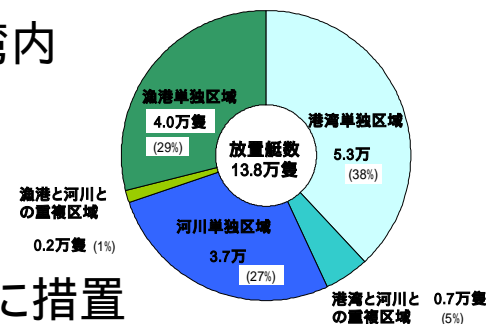
平成8年度の調査では放置艇は13.8万隻、うち4割は港湾内  
船舶航行の障害や周辺環境の悪化等が問題

放置艇対策の柱は、規制措置と係留・保管能力の向上

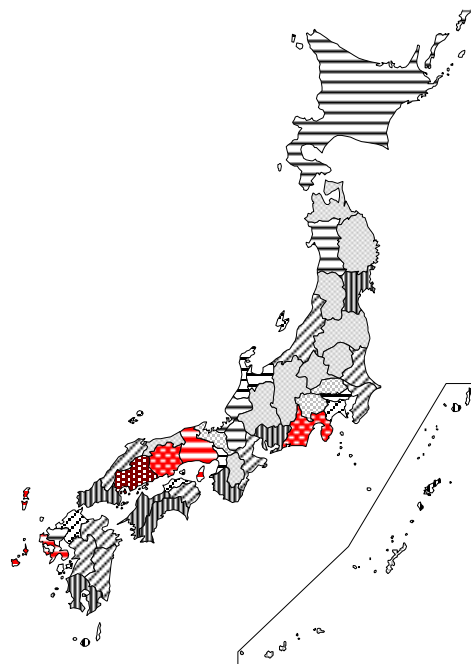
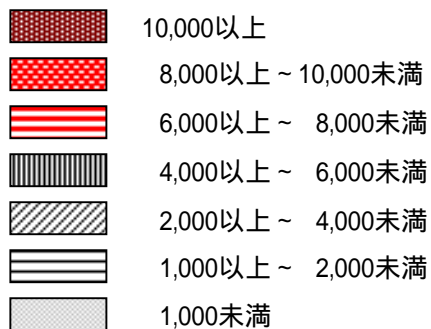
[規制措置] 港湾管理者が放置等禁止区域を指定できるように措置

[係留・保管能力の向上] ボートパーク整備事業の推進

放置艇の区域別状況



放置艇数(隻)

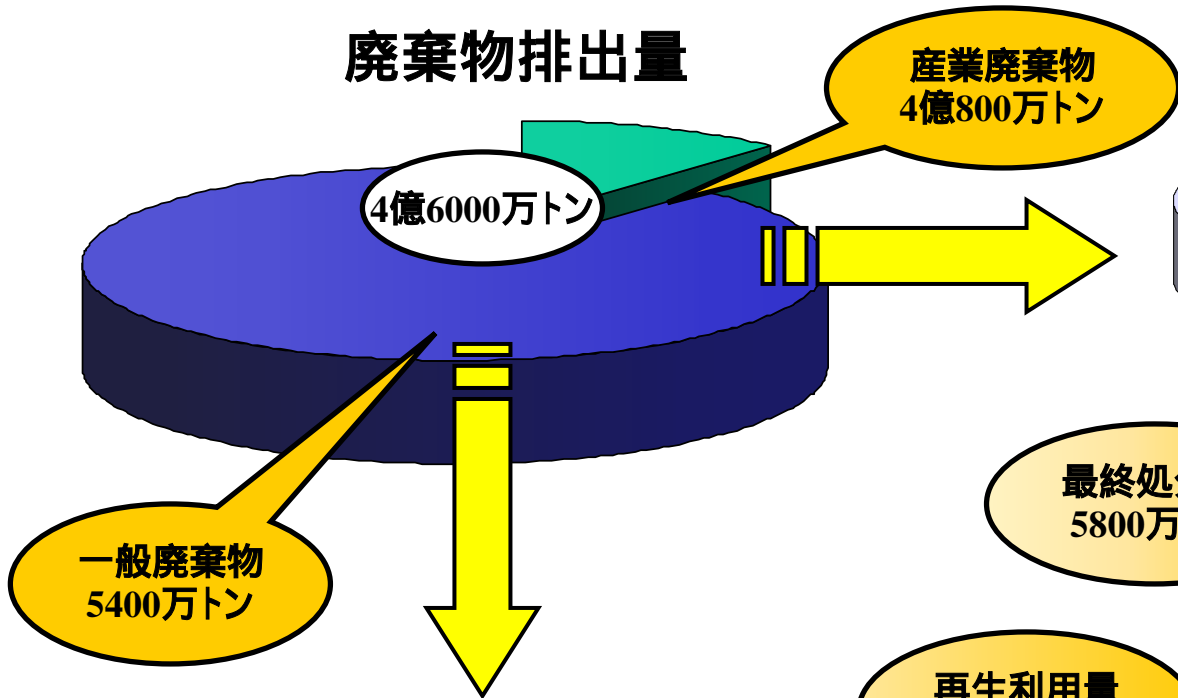


[ 放置艇の現状 ]

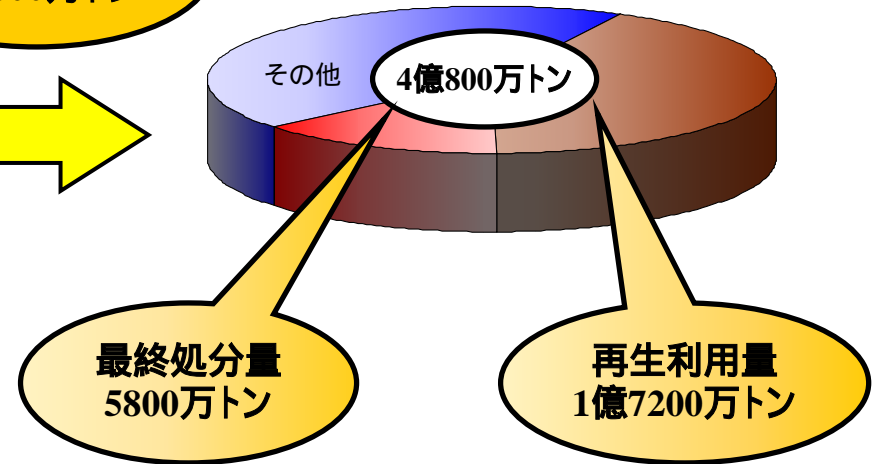
# 廃棄物の排出及び処分の現状

我が国においては、年間約**4.6億トン**の廃棄物が排出され、そのうち**約6,900万トン**が最終処分場において処理されている。

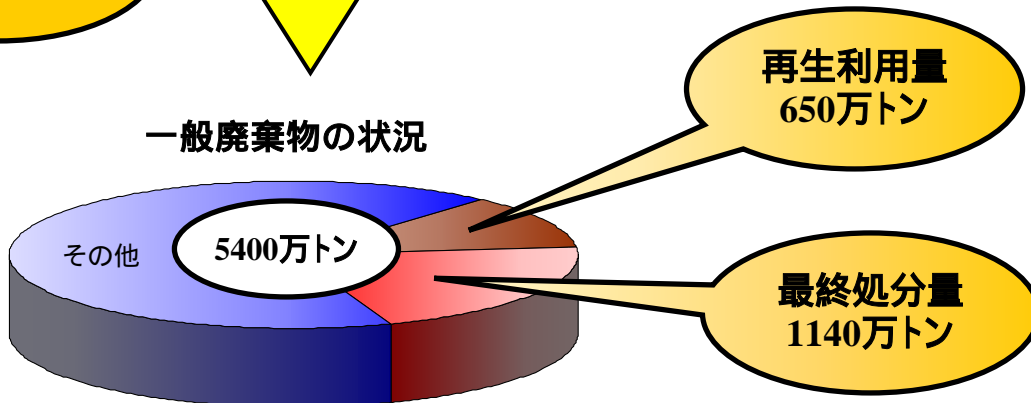
## 廃棄物排出量



## 産業廃棄物の状況



## 一般廃棄物の状況



平成10年度